



広報

2009
2/10

No.534

あ い づ ば ん げ



400年の歴史と伝統をかみしめ



大依引き行事の起こりは、
今から約4百年前といわれている。
大依引きの勇ましさは
到底言葉では言い表せないほど盛んを極め、
若松のお城の偉いお侍の方々が
大勢見物にこられるなど
見物人は人垣を作って声援したという。

握る依に一年の福を祈り

やう、それが
坂下初市



寒風にも負けず、力いっぱい引き合う…





祭りの最後を締めくくる
富くじ抽選会で見事景品を
射止めたみなさん

電子
レンジ



自転車



掃除機



新春恒例の合祭「初市・大旗引き」が1月14日、町役場前ライオン通りで行われました。
前日までの雪がうそのように青空の広がった当日は、平日にもかかわらずたくさんの方が駆けつけました。
入水小の東西対抗旗引きでは、町の将来を担う小学生たちが、滑りやすい足元に苦戦しながら、大人に負けない熱気で引き合いました。
祭りのメイン「大旗引き」では勇壮かつ痛快な引き合いが展開され、今年は4年ぶりに西万（白組）が勝利しました。西方の勝利ということ、今年はやさしく期待されます。



役場前広場が今年一年の福を求めの人で埋め尽くされ、一斉にやぐらに向かって手を伸ばす中、365個の福豆俵がまかれました。



さりげない手助け・見守りが 高齢者と家族を支えます



あなたにも今日からできることがあります

地域のみなさんの理解と支えがあれば、認知症など何らかの病気や障害がある人も介護する家族も、安心してまちに出て、自分らしい暮らしを続けることができます。必要なのは専門的な知識や技術ではなく、さりげない手助けや見守り、声かけなど。あなたのちょっとした勇気や優しさこそが、このまちを安心して安全なまちに変えていく原動力になります。

近隣の人と日常的に
あいさつを交わそう



困っている様子の人を
見かけたら声をかけよう



ゆっくりペースにあわせる
心のゆとりを持つ



「ちょっと変だな」と感じたら地域包括支援センターへ連絡を

「虐待や悪質高法の被害にあった」「認知症の人が行方不明になり何日も見つからない」「一人暮らしの高齢者が孤立死した」—— こうした悲しい事件が起こらないようにするためには、地域のみなさんの見守りや気づきが鍵を握ります。現に、最悪のケースに至る前に、実は周囲の人は異変に気づいていたということも少なくないのです。「ちょっと変だな」と感じたら、「大したことはないだろう」と自己判断せずに、地域包括支援センターへ連絡してください。結果として何もなければ、それにしたことはありません。

※守秘義務により、連絡者が特定されたり、連絡したことで不利益を被ることはありません。

☆こんなことに気づいたら地域包括支援センターへ連絡を☆

- 昼間でも雨戸がしまっている、夜になっても明かりがつかない
- しばらく姿を見かけない
- 家や庭の様子が荒れている
- 新聞や郵便物がたまっている
- 怒鳴り声や泣き声、大きな物音などがする
- 天候が悪いのに長時間外にいる
- 目的なく歩き回っているようだ
- 不審な業者などが立ち入りしている

ご連絡はこちらまで
会津坂下町地域包括支援センター
Tel 84 - 2700